

科目区分	統合分野	科目名	看護管理		
開講時期	3年次	単位・時間	1単位 15時間	講師名	看護師
学習目標	1. 看護管理の目的と機能について理解できる。 2. 組織の一員としての看護師の役割や行動を理解する。 3. リーダーシップとメンバーシップおよびマネジメントの基礎を理解する。 4. 看護を経営的・経済的側面から考えられる。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	第1章 看護とマネジメント			講義
	2	第2章 看護ケアのマネジメント 1) 看護ケアのマネジメントと看護職の機能 2) 患者の権利の尊重 3) 安全管理			講義
	3	4) チーム医療 5) 看護業務の実践 第3章 看護職のキャリアマネジメント			講義
	4	第4章 看護サービスのマネジメント 1) 看護サービスのマネジメント 2) 組織目的達成のマネジメント 3) 看護サービス提供のしくみづくり			講義
	5	4) 人材のマネジメント 5) 施設・設備環境のマネジメント 6) 物品のマネジメント 7) 情報のマネジメント 8) 組織におけるリスクマネジメント 9) サービスの評価			講義
	6	第5章 マネジメントに必要な知識と技術			講義
	7	第6章 看護を取り巻く諸制度			講義
	8	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	系統看護学講座 看護管理 看護の統合と実践① <医学書院>				
参考文献					
自己学習時間	30時間	事前・事後学習			

科目区分	統合分野	科目名	医 療 安 全		
開講時期	3 年次	単位・時間	1 単位 30 時間	講師名	看護師
学習目標	1. 医療安全の考え方を理解する。 2. 安全管理の必要性を理解する。 3. 安全管理の方法を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	医療安全を学ぶことの大切さ			講義
	2	事故防止の考え方を学ぶ			講義
	3	患者に投与する業務における事故防止			講義
	4	診療補助の事故防止			講義
	5	継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止			講義
	6	療養上の世話の事故防止			講義
	7	業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 医療安全とコミュニケーション			講義
	8	「口頭指示」「経管栄養事故」「患者誤認事故」 危険因子と防止策の検討			講義
	9	イラスト KYT シートを使ってグループワーク① 転倒・転落予防のためのアセスメントと計画立案			グループワーク
	10	イラスト KYT シートを使ってグループワーク② 転倒・転落予防のためのアセスメントと計画立案+講義			グループワーク 講義
	11	組織としての医療安全対策			講義
	12	感染対策 ・感染対策を学ぶ必要性 ・自分自身の健康管理			講義
	13	標準予防策 ・手指衛生 ・个人防护具			講義
	14	・環境整備 ・リネン交換 ・針さし事故防止 ・健康管理			講義
15	終講試験				
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	医療安全 <医学書院>				
参考文献					
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキスト、配布資料の熟読および持参する。 配布資料およびテキストでの照らし合わせ復習する。		

科目区分	統合分野	科目名	国際・災害看護		
開講時期	3年次	単位・時間	1単位 30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 国際看護の基本理念と方法を理解し、国際協力について考える。 2. 災害および災害看護に関する基礎的知識を理解する。 3. 災害発生時の社会の対応やしきみ、個人の備えがわかる。 4. 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響を理解する。 5. 災害に看護が果たす役割、災害各期における看護支援活動を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	国際看護 国際社会の現状と国際看護活動の課題			講義
	2	国際看護活動の支援を必要とする対象			講義
	3	国際看護学活動			講義
	4	国際看護 国としての国際協力活動			講義
	5	看護における国際化			講義
	6	災害看護の基本的な考え方と看護の役割			講義
	7	災害医療の基本			講義
	8	CSCATTT 災害拠点病院 災害関係諸機関との連携			講義
	9	災害看護の実際			講義
	10	災害発生時の対応			講義
	11	急性期の災害医療・災害看護活動			講義
	12	亜急性期以後の災害医療			講義
	13	外傷の観察の仕方			講義
	14	トリアージ訓練			講義
	15	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	新体系看護学講座 国際看護 <メヂカルフレンド> 新体系看護学講座 災害看護				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・ 事後学習			

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	統合分野		科目名	臨床看護技術演習		
開講時期	3年次	単位・時間		1単位30時間	講師名	専任講師
学習目標	系統的な観察、問診、視診、聴診、打診により対象の健康状態を把握し評価する技術を習得する。					
授業の内容と方法	回	授業内容				授業形態
	1	臨床実践能力				講義
	2	複数受け持ち患者の看護実践 複数患者の受け持ち・行動計画立案				講義
	3	看護師の役割 1) リーダー看護師 2) メンバー看護師 3) 夜間の看護				講義
	4	複数患者の観察と確認① 複数患者の受け持ち・行動計画の実施に向けて				グループワーク
	5	複数患者の観察と確認②③				演習
	6	・複数患者の観察と確認の実際				
	7	緊急入院患者の受け入れ（紙上事例） ・入院患者の情報をとる ・行動計画の変更				講義
	8	突発時の対応①②				演習
	9	1) 観察とアセスメント 2) 初期対応				
	10	複数・複合事例の看護の実践① 優先順位、作業の効率性、時間の制約、リーダー・メンバー看護師間の指示伝達及び連絡・報告・相談を踏まえた行動計画				グループワーク
	11	複数・複合事例の看護の実践② 優先順位、作業の効率性、時間の制約、リーダー・メンバー看護師間の指示伝達及び連絡・報告・相談を踏まえた行動計画実施へ向けての準備				演習
	12	複数・複合事例の看護の実践③④				演習
	13	優先順位、作業の効率性、時間の制約、リーダーへの相談を踏まえた診療の補助技術の計画の実施				
	14	臨床に即した多重課題、複合課題（紙上事例） ・ケアの優先順位・多重課題の優先順位・主治医、当直医への報告 ・急変時の家族への連絡				グループワーク
15	筆記試験・OSCE					
評価方法	筆記試験					
テキスト	看護実践マネジメント・医療安全 メヂカルフレンド社					
参考文献						
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	演習・OSCEに向けての自己学習、看護技術の自己練習			